

# みおやの神と筑波山

つくば市

昔、みおやの神が、諸国に住んでいる神たちを訪ね歩いた時のことです。

ある日、みおやの神が駿河国(静岡県)に着いた時、すっかり日は暮れ、あたりは真っ暗でした。そこで、富士の神に宿を頼みました。

すると富士の神は、「あいにく今日は新しく収穫した米を祝う新嘗があり、外のもは誰も近づけず、家中の者が身を清めています。申し訳ないが今夜だけはご勘弁ください」と断りました。

富士の神を頼りに歩いてきたみおやの神は、「私はおまえの親ではないか。どうして親を泊めようとしなののか」と嘆き悲しみました。



そして今度は常陸国(茨城県)の筑波の山に登り、また宿を求めました。

すると、筑波の神は「今夜は新嘗の祭りをしておりますが、せっかく親神様が来てくれたのに泊めないわけにはいきません。どうぞ中へお入りください」と言って、たくさんのご馳走でもてなしてくれました。

みおやの神は、筑波の神の心づかいにたいそう喜び、「神と共に食べたり飲んだりできる豊かな山になるように」と祝意を込めた歌を歌いました。

それからというもの、筑波の山には一年中草木が茂り、たくさんの人々が集って歌い舞い、賑やか山になったのだということです。

11月上旬から紅葉が楽しめる筑波山。この秋、足を運んでみてはいかがでしょう。

〈出典〉茨城の民話 第一集(日向野徳久編)



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

**ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社**

本社/〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>